

包括連携協定を結んだ6者の代表者ら。左から3番目が中山峰男崇城大学長、同5番目は河村邦比児熊日社長
=26日、県庁



イノベーション 人材育成で連携

崇城大、熊日など6者

熊本日日新聞社と崇城大など6者は26日、地域コミュニティーの創設やイノベーションを担う人材育成に関する包括連携協定を結ん

だ。情報通信技術（ICT）を活用し、農業や産業、医療など異分野が融合した新ビジネスの創出などを目指す。

6者はほかに、同大などが創設した一般社団法人「SCBラボ」、シェアオフィス運営会社「Zero-Ten Park」（福岡市）と県、熊本市。崇城大はICT産業を学ぶ「異分野融合イノベーション」の講義を2019年度に開設したほか、SCBラボ

は複数の教育本を出版している。こうした知見を生かし、協定に基づき、教育システムなどを構築する。

協定式では、同ラボ所長で同大情報学部の星合隆成教授が「学びの場をつくることで、熊本に革新をもたらす人材をつくりたい」とあいさつ。河村邦比児熊日社長は「広がりのあるネットワークや地域づくりに貢献したい」と述べた。

（馬場正広）